



豊高通信

県立豊栄高等学校

令和5年1学期号

この広報誌では、学校行事やイベントを中心に、学校生活の様子をお伝えしていきます。今号は、4月から夏休みまでの行事等の紹介です。

バス研修(4月19日(水))、全学年

1学年は、バスでサントピアワールドへ出かけ、バーベキューやアトラクションを思い切り楽しみました。集団生活をとおしてクラスメイトとの交流を深めることを目的に実施しており、出身中学が異なるクラスメイトにも交流の輪が広がりました。

同日に、2・3学年は上級学校見学等や合同企業説明会に参加する進路学習を実施しています。



バーベキューの一コマ。「初めて話す友達もいて、関係が深められて良かった」等の声が聴かれました。

意識啓発講演会(4月26日(水))、1学年

「目の前の事柄に本気で取り組む大切さ」、「目的をもって学校生活を送る意義」等を学びました。1学年はこの後、2年時のコース選択に向け、各種説明会やガイダンスを実施しています。

本校では、系統だった進路学習を計画的に実施し、生徒全員の進路希望実現に向け、系統的な進路指導を展開しています。



NSGカレッジリーグ事業推進部 鈴木 弘明 様から御講演いただきました。前向きな気持ちになれる素敵な講演でした。

葛塚市ボランティア(5月20日(土)他、生徒会)

週末に開催される地域の市場に、生徒会執行部の生徒がボランティアとして参加し、イベントの盛り上げに貢献しています。地域の方々との交流には校内での学習とは異なるやり甲斐があり、生徒を一回り大きく成長させてくれます。

本校では今後も、地域との連携による学習活動を大切にしていきます。



人気コーナー「射的」の運営を手伝います。コルク鉄砲の使い方の説明から景品を渡す所まで、接客全般を担当し、大忙しです。



「段ボール迷路」を組み立て、迷路を楽しむ子供たちをサポートします。子供たちの笑顔でモチベーションが上がります！

SOSの出し方授業(5月31日(水))、1学年 ※他学年も別日程で実施

県教育委員会作成の学習指導案に基づき、全ての学年で実施しています。「人に相談しにくい理由は何か」をグループで話し合い、悩みへの対処法や相談することの大切さを学びました。

この他、SNSとの適切な関わり方を学習する授業を行う等、他者とよりよく関わるために必要な学習を実施しています。



学習をとおして、相談に対する心理的な抵抗感が少しでも減ることを目指して授業を進めます。

選挙出前授業(6月7日(水)、2・3学年)

主権者教育の一環として、県選挙管理委員会から講師を招いて選挙の出前授業を実施しました。架空の都市『豊栄市』の市長選挙を想定し、本物の投票箱や投票手順による模擬選挙を行い、有権者としての自覚を新たにしました。

本校では、成年年齢引き下げ等の昨今の動きに鑑み、自立した社会人として卒業生を送り出せるよう、主権者教育や消費者教育を計画的に実施しています。



模擬選挙の選挙管理委員長も生徒が務めます。公平・公正な選挙の実現のため、どのような工夫や努力があるのか、実地で学びました。

体験授業ガイダンス(7月5日(水)、2学年)

大学や専門学校から講師を招き、21の分野から各自が2分野を選択して体験しました。

関心のある分野を実際に体験し講師から直接説明を受けることで、上級学校での学びのイメージが一層明確になり、職業観・勤労観の育成にも役立ちます。職場インターンシップ(下記参照)も含め、本校では、直に触れ体験する機会を大切にしています。

体験分野(一部抜粋)

- ・看護・医療の仕事
- ・保育・幼児教育の仕事
- ・スポーツ関係の仕事
- ・自動車の仕事
- ・栄養・調理・製菓の仕事
- ・美容・メイクの仕事
- ・アニメ・漫画の仕事
- ・公務員・法律の仕事
- ・動物・トリマーの仕事

職場インターンシップ(8月1日(火)~4日(金)、2学年)

2学年の就職希望者25名が12の事業所に分かれてインターンシップを実施しました。働く意義を学び働く楽しさを実感すると同時に、社会人としての責任や信用、マナーといった、大切で厳しい一面も学びます。様々な面で生徒の成長を促す貴重な実習となっています。



実習先は、生徒の希望分野(製造、飲食接客等の8分野から一つを選択)をもとに決定し、事業所の方の指導を受けながら進めます。生徒からは「働く厳しさがよく分かった」等の声が聴かれました。

教員研修について

生徒の学校生活をしっかりとサポートできるよう、先生方も常に研修に励んでいます。1学期に実施した研修の一部を紹介します。

ゲートキーパー研修の様子。授業がない考査期間の午後に、問題作成や採点の合間を縫って研修を深めます。



ゲートキーパー研修(5月16日)

県立教育センターから指導主事を講師に招き、悩んでいる生徒にいち早く気づき、思いをしっかりと受け止めるにはどうすれば良いか学びました。多感な思春期にある生徒が発するSOSを確実にキャッチし、組織的に対応できるよう、研修を重ねています。

スクールロイヤー活用事業(6月29日)

県のスクールロイヤーを講師に招き、「いじめ防止対策推進法の要点」と題して御講演をいただきました。本校では「いじめを決して見逃さない」との強い決意の下、把握した生徒間のトラブルには教師が確実にに関わり、丁寧に対応しています。